

---

---

## 3. 総合評価報告書（案）について

---

---

※総合評価報告書は、「徳島南部自動車道  
吉野川河口域に与える影響の総合評価報告書」の略

## ■ 3-1 最終とりまとめの方針について



今回の検討会では、**上部工の影響に関するまとめ**を報告し、前回の検討会で確認した下部工の影響評価を踏まえて、**総合評価報告書（案）**全体の内容を確認する。

|                         | 下部工の影響に関すること<br>※橋脚完成 R2.5.1  | 上部工の影響に関すること<br>※上部工セグメント最終架設完了 R3.8.23   |
|-------------------------|---|---|
|                         | 水質：R4.3で終了<br>地形：R3.10で終了<br>底生生物：R3.10で終了<br>魚類：R3.10で終了   | 鳥類：R5.5で終了<br>※R3.9から事後調査を実施中   |
| R4.10<br>第15回検討会        | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果報告</li> <li>事業における環境保全対策の内容</li> <li>調査結果全体のとりまとめ</li> <li>影響評価のまとめ</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>事後調査実施中</li> <li>調査結果報告</li> </ul>   |
| R5.10<br>第16回検討会<br>※今回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>上・下部工の影響評価まとめを統合し、最終評価報告書（案）を作成、内容の確認</li> <li>影響評価の結果を受けての事業者の見解（※代償措置及びフォローアップについて）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果報告</li> <li>事業における環境保全対策の内容</li> <li>調査結果全体のとりまとめ</li> <li>影響評価のまとめ</li> </ul> |
| R5.12～R6.1頃             | <ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントの実施及び意見整理</li> </ul>  |   |
| R6.3<br>第17回検討会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>最終評価報告書の確認、事業終了に伴う検討会の閉幕</li> </ul>  |   |

定期水質調査の事後調査は、R2.6～R4.3に8回実施  
地形、底生生物、魚類の事後調査はR2.6～R3.10に4回実施  
鳥類調査の事後調査は、R3.9～R5.5に8回実施

## ■ 3-2 総合評価報告書(案)の内容について



全体目次を以下に示す。

### ■ 第1章 事業概要

吉野川サンライズ大橋整備事業の概要や環境保全対策、環境モニタリング調査、検討会、事業の影響評価の概略をとりまとめたもの。一般の方でも分かりやすい内容に配慮した。

### ■ 第2章 事業の影響評価に関する各種検討

検討会で検討してきた上・下部工の影響評価に関する各種検討をとりまとめたもの。また、評価結果を受けたNEXCO西日本の代償措置に対する考え方を記載。

### ■ 第3章 環境モニタリング調査

平成26年度～令和5年度まで実施した環境モニタリング調査の調査内容と、調査結果をとりまとめたもの。それぞれの調査項目に調査結果を踏まえた事業の影響の考察を記載。

## ■ 3-3 総合評価報告書(案)の内容について

「第1章 事業概要」の内容を以下に示す。第1章については、一般の方でも理解しやすいように配慮して資料を作成した。

### ■ 第1章 事業概要

#### 1.1 吉野川サンライズ大橋の概要 (P1-1)

- 吉野川サンライズ大橋の概要、諸元、位置図など

#### 1.2 環境や景観への配慮 (P1-4)

- 事業で検討してきた環境と景観への配慮に関する内容

#### 1.3 環境モニタリング調査 (P1-14)

- 環境モニタリング調査の概要
- 調査で確認した一部の生物写真を紹介

#### 1.4 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会 (P1-22)

- 検討会と部会の概要

#### 1.5 事業の影響評価 (P1-27)

- 事業の影響評価の概略 ※検討内容の詳細は第2章に示した。

## ■ 3-4 総合評価報告書(案)の内容について

「第2章 事業の影響評価」の内容を以下に示す。

### ■ 第2章 事業の影響評価に関する各種検討

#### 2.1 概要 (P2-1)

- ・ 事業の影響評価の考え方と評価方法の概要

第15回検討会で確認済み

#### 2.2 下部工の影響に関する検討 (P2-12)

- ・ 下部工の存在による影響評価

- ①底生動物のバックアップ状況の確認
- ②ハビタット区分面積の変遷
- ③河口干潟の面積の変遷

- ・ 工事の実施による影響評価

- ①ハビタット区分の検討（浚渫の影響評価）
- ②浚渫箇所の底生動物の生息状況の確認

#### 2.3 上部工の影響に関する検討 (P2-40)

- ・ 上部工の存在による影響評価

- ①シギ・チドリ類の生息・休息状況の確認
- ②シギ・チドリ類の飛翔状況の確認
- ③夜間走行車両のヘッドライトの影響

- ・ 工事の実施による影響評価

- ①シギ・チドリ類のねぐら周辺での建設作業騒音・振動による影響

#### 2.4 影響評価を受けた事業者のミティゲーションの考え方 (P2-56)

- ・ 計画段階と施工段階のミティゲーションと代償措置の必要性

※後ほど本検討会で確認する

#### 2.5 参考 (P2-62)

## ■ 3-5 総合評価報告書(案)の内容について

「第3章 環境モニタリング調査」の内容を以下に示す。

| 節   | 項目    | 工事の配慮事項   | 調査結果   | 考察   |
|-----|-------|---|--|--|
| 3.1 | 調査概要  | —   | —  | —  |
| 3.2 | 騒音・振動 | <p>下部工施工時に騒音・振動対策に努めた。</p> <p>※鋼管矢板打設時に消音装置・防音シートによる騒音・振動軽減対策を実施</p>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの工事日で基準値を満足した。</li> <li>※H28.4.6に右岸側で瞬間的に基準値を超過しましたが、以降は対策することで超過することは無くなりました。</li> </ul>   | <p>工事の実施による騒音・振動は、<b>吉野川渡河部周辺に悪影響を与えていないと考えられる。</b></p>  |
| 3.3 | 水質    | <p>上・下部工施工時に環境保全対策として汚濁拡散防止に努めた。</p> <p>※汚濁拡散防止として、作業台船周辺に汚濁拡散防止膜・枠を設置し、その範囲の中で作業を実施</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>工事に伴う水質の変化や濁りの拡散は見られていない。</li> <li>橋脚の存在によって周辺の水質に影響は見られていない。</li> <li>海苔養殖場近傍でも水質や流況に変化は見られていない。</li> </ul>  | <p>工事の実施と橋脚の存在は、<b>吉野川渡河部周辺の水質に悪影響を与えていないと考えられる。</b></p>   |
| 3.4 | 地形    | <p>浚渫で採取した大量の土砂は、河川内に移すのではなく、陸揚げすることで環境負荷を少なくした。</p> <p>※陸揚げした土砂も他所の埋め立て事業や養浜事業に有効活用した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>工事で実施した浚渫箇所は、出水や高波浪等の影響で自然に埋め戻ることが確認された。</li> <li>河口干潟の面積は、出水に伴う増減はあるものの概ね横ばい傾向で推移している。</li> <li>大規模出水時には橋脚周辺部が洗掘することが確認されたが、基本的に洗掘箇所は埋め戻されることを確認した。</li> </ul> | <p>工事の実施と橋脚の存在は、<b>吉野川渡河部周辺の地形変化に大きな影響を与えていないと考えられる。</b>また、大規模出水時には吉野川河口全体で地形が大きく変化しており、工事や橋脚の影響よりも自然の影響（自然のゆらぎ）の方が遥かに大きいことが確認された。</p> |

## ■ 3-6 総合評価報告書(案)の内容について



「第3章 環境モニタリング調査」の内容を以下に示す。

| 節   | 項目          | 調査結果  | 考察  |
|-----|-------------|---|---|
| 3.5 | 底生生物<br>・底質 | <ul style="list-style-type: none"> <li>底生生物は工事中・工事後も継続的に生息しており、出現傾向も概ね安定してる。</li> <li>平成30年7月から10月にかけての大規模出水で一時的に種数が激減したが、以降の調査で回復していることが確認された。</li> <li>事前と比較して工事中・事後でも種数や個体数の減少は無く、出水後に少なくなるということが確認された。</li> </ul> | <p>工事の実施と橋脚の存在は、吉野川渡河部周辺に生息する底生生物に悪影響は与えていないと考えられる。</p> <p>⇒検討会では、下部工の影響に関して様々な検討を実施しており、影響が軽微であるという定性的・定量的評価を示した。 ※第15回検討会で確認済み</p> <p>⇒※第2章にて、下部工の影響に関する検討を実施。</p>          |
| 3.6 | 鳥類          | <ul style="list-style-type: none"> <li>吉野川河口全体に出現する渡り鳥のシギ・チドリ類に減少は無く、継続的に出現していることが確認された。</li> <li>事業計画時点から予想された通り、上部工の工事が進むにつれて飛翔高度の変化が確認された。</li> </ul>  | <p>工事の実施と上部工の存在は、吉野川河口周辺に飛来する鳥類（シギ・チドリ類）に悪影響を与えていないと考えられる。</p> <p>⇒検討会では、上部工の影響に関して様々な検討を実施しており、調査結果を踏まえて影響が軽微であるという定性的評価を示している。 ※本検討会で確認</p> <p>⇒※第2章にて、上部工の影響に関する検討を実施。</p> |
| 3.7 | 魚類          | <ul style="list-style-type: none"> <li>確認種数に減少は見られなかった。</li> </ul>  | <p>工事の実施と橋脚の存在は、吉野川渡河部周辺に生息する魚類に悪影響を与えていないと考えられる。</p>   |